

# 一般質問(要旨)

## 働く環境づくりを含めた医師確保対策は 医療クラークの普及促進など全力で取り組む

大谷明議員(無所属)

医師不足は深刻である。医療クラーク※を活用し指導医などの負担を軽減させ、個々の能力を有効活用することも医師確保となる。働く環境づくりを含めた医師確保対策は、

知事 医療クラークの普及促進を図り、医師の働きやすい環境づくりを進めるほか、指導医などより一層の連携強化を図りつつ、引き続き医師確保に全力で取り組む。

輸出は、原発事故で中断しているが、実現には戦略が必要である。地産地消に加え、輸出に向けた「地産外商」の取り組みを進めるべきではないか。

農林水産部長 現在



医療クラークの普及促進を

(ほかに、東京電力への損害賠償請求が進まない業種への支援体制、病児・病後児保育実施施設増加の取り組みなども質問)

## 国家戦略としてのつくばの活用は 科学技術創造立国を支える拠点づくり

星田弘司議員(自民)

つくばの発展は、県、そして国の発展につながる。つくばの将来の方向性を示す「新たなつくばのグランドデザイン」のもとで、国家戦略としてのつくばを活かした茨城づくりのビジョンは。

知事 関係機関との連携のもと、研究開発を一層推進して新事業・新産業の創出を図るなど、科学技術創造立国日本を支える拠点づくりを進め、将来の日本の発展の一翼を

担う県を目指していく。

議員 つくばエクस्प्रेसは開業当初から東京延伸と運行本数の増便が課題であったが、利用者数などの目標が達成された今、その取り組み状況は。

企画部長 東京延伸に必要な事業費の資金調達や関係自治体の合意形成に向けた協議を進めていく。また、平成二十四年秋予定の車両増強に伴うダイヤ改正に向け、県内区間の増便を鉄道会社に強く働きかけていく。



我が国最大の研究開発拠点であるつくば市

(ほかに、圏央道開通を見据えた取り組み、警察官の増員なども質問)

## 子どもの健康調査を実施すべきでは 説明会などで不安解消を図る

設楽詠美子議員(民主)

本県は、子どもや妊産婦への放射線被ばくの健康調査は必要ないとしている。県民の不安や風評被害を払しょくするため、実施すべきでは。

知事 本県の空間線量率は福島県より極めて低く、放射線被ばくの専門家からも調査は必要ないと聞いている。県民の不安解消には、きめ細かな放射線測定や分かりやすい説明会などで対応したい。

議員 本県での心筋梗塞による死亡率は男性が全国二位、女性は全国一高い。国の包括的な予防政策では不十分なため、心筋梗塞に特化した県独自の対策が必要では。



放射線を対象とした放射線に関する講演会(行方市)

保健福祉部長 循環器疾患予防月間の実施に加え、「脳卒中・心筋梗塞危険度予測シート」による生活習慣改善の啓発や、緊急時に対応可能な医療機関リストによる迅速な搬送受入先の決定などにより死亡率を減少させる。

本澤徹議員(自民) 本県港湾背後地を襲った規模の津波に対しては、避難支援を重視する減災ではなく、浸水を防止するハード的な防護対策を強化すべきであり、県独自の応急対応策も望むが。

議員 警察庁から自転車交通総合対策の通達が出されたが、本県では県道下太田幹田線など、道幅が狭く歩道もない危険な



津波浸水時の鹿島港北公共ふ頭(鹿嶋市・神栖市)

## 港湾背後地を守る対策は 鹿島港で年度内に防潮堤を整備

本澤徹議員(自民)

道路の歩車道分離を早急に始めていくべきでは。

土木部長 現在、県管理道路の歩道整備率は約六割である。今後も通学路などの歩道整備を重点的に進めていく。県道下太田幹田線常磐地区では道路幅とともに両側歩道整備を進めている。

(ほかに、高齢者の社会的孤立対策、除染対策、観光誘客策なども質問)

### 今定例会で可決された主な議案

#### 議員提出

- 茨城県議会委員会条例の一部を改正する条例
- 子ども・子育て支援策の充実・強化を求める意見書
- 私学助成制度の堅持及び充実強化に関する意見書

ほか六件

- ◆条例の一部改正
  - 特別職の職員の給与並びに旅費及び費用弁償に関する条例及び知事等の給与の特例に関する条例の一部を改正する条例
  - 茨城県産業活動の活性化及び雇用機会の創出のための県税の特別措置に関する条例の一部を改正する条例
  - 茨城県屋外広告物条例の一部を改正する条例

ほか六件

#### 知事提出

- ◆平成二十三年度補正予算関係
  - 一般会計予算(一件)
  - 企業会計予算(一件)
- ◆条例の制定
  - 茨城県と茨城県信用保証協会との損失補償契約に基づく回収納付金を受け取る権利の放棄に関する条例

- ◆その他
  - 平成二十二年茨城県公営企業会計決算の認定について
  - 平成二十二年茨城県一般会計及び同特別会計歳入歳出決算の認定について
  - 公安委員会委員の任命について
  - 収用委員会委員の任命について

ほか十一件

※【医療クラーク】…医師の事務作業の補助を行う仕事。平成20年度からカルテや各種診断書・証明書・処方せんなどの医療文書の作成について、医師の指示のもと代行できるようになった。